

※百分率は小数第二位で四捨五入するため、合計が100%にならない場合があります。



飲酒運転交通事故の発生状況

令和5年中

1 発生状況

令和5年中の飲酒運転交通事故（原付以上の人身事故）は、前年と比較して、発生件数及び負傷者数ともに増加しました。

また、死亡事故についても4件4人発生しており、前年と比較して+3件+3人の増加となりました。

【飲酒運転交通事故の発生状況】

(令和5年中)

区分	発生件数	死亡事故		負傷者数		
		件数	死者数	重傷	軽傷	計
本年	45	4	4	8	44	52
前年	33	1	1	6	44	50
増減	12	3	3	2	0	2
率	36.4	300.0	300.0	33.3	0.0	4.0

2 市区町村別発生状況 (令和5年中)

市区町村別の発生状況は、発生地別では青葉区が8件で最も多く、居住地別でも青葉区が6件で最も多くなりました。

発生地				
市区町村名	件数	前年比	構成率	
仙台市	青葉区	8	4	17.8
仙台市	宮城野区	4	-1	8.9
仙台市	若林区		-3	0.0
仙台市	太白区	7	5	15.6
仙台市	泉区	3	0	6.7
石巻市		2	-1	4.4
塩竈市		2	1	4.4
気仙沼市		2	2	4.4
白石市			0	0.0
名取市		3	3	6.7
角田市		1	-1	2.2
多賀城市		2	2	4.4
岩沼市		1	0	2.2
登米市		1	0	2.2
栗原市			0	0.0
東松島市			0	0.0
大崎市		2	2	4.4
富谷市			-2	0.0
蔵王町			-1	0.0
七ヶ宿町			0	0.0
大河原町		1	1	2.2
村田町			-1	0.0
柴田町		1	0	2.2
川崎町			0	0.0
丸森町			0	0.0
亘理町		3	3	6.7
山元町		1	1	2.2
松島町			0	0.0
七ヶ浜町			0	0.0
利府町			0	0.0
大和町			-1	0.0
大郷町			0	0.0
大衡村			0	0.0
色麻町			-1	0.0
加美町			0	0.0
涌谷町			-1	0.0
美里町			0	0.0
女川町			0	0.0
南三陸町			0	0.0
高速等		1	1	2.2
計	45	12	100.0	

第1当事者居住地				
市区町村名	件数	前年比	構成率	
仙台市	青葉区	6	4	13.3
仙台市	宮城野区	4	-1	8.9
仙台市	若林区		-3	0.0
仙台市	太白区	4	2	8.9
仙台市	泉区	1	-5	2.2
石巻市		2	-1	4.4
塩竈市		1	0	2.2
気仙沼市		2	2	4.4
白石市		1	0	2.2
名取市		5	5	11.1
角田市		1	0	2.2
多賀城市			0	0.0
岩沼市		3	3	6.7
登米市		1	0	2.2
栗原市			0	0.0
東松島市			0	0.0
大崎市		2	0	4.4
富谷市		1	1	2.2
蔵王町			0	0.0
七ヶ宿町			0	0.0
大河原町		1	1	2.2
村田町			-1	0.0
柴田町		1	1	2.2
川崎町			0	0.0
丸森町			0	0.0
亘理町		3	2	6.7
山元町			0	0.0
松島町		1	1	2.2
七ヶ浜町			0	0.0
利府町			0	0.0
大和町		1	0	2.2
大郷町			0	0.0
大衡村		1	1	2.2
色麻町			0	0.0
加美町			-1	0.0
涌谷町			-1	0.0
美里町			0	0.0
女川町			0	0.0
南三陸町			0	0.0
県外等		3	2	6.7
計	45	12	100.0	

※百分率は小数第二位で四捨五入するため、合計が100%にならない場合があります。

3 発生推移 (基礎データ平成17年～令和5年)

飲酒運転事故の発生推移を見ると、発生件数、死者数ともに平成19年までは大幅な減少傾向にありましたが、平成20年以降は減少率が鈍化し、ほぼ横ばいで推移し、その後平成26年から、発生件数100件未満、死者数5人以下で推移しています。

また、平成30年以降減少傾向にあった発生件数ですが、令和5年には+12件の増加に転じました。



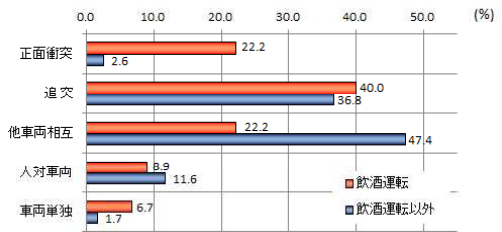
4 発生特徴等 (基礎データ令和5年中)

(1) 追突事故の発生が多い

事故類型別では、追突が最多で4割(45件中18件、40.0%)を占めました。

また、正面衝突の構成率(45件中10件、22.2%)が、飲酒運転以外(3,988件中102件、2.6%)と比較して高くなりました。

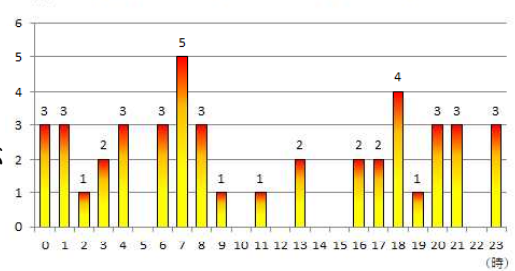
【事故類型別発生状況(構成率)】



(2) 昼夜を問わず発生

時間別では、7時台が5件で最も多く、次いで18時台が4件と多くっており、昼夜別では、昼18件、夜27件と昼夜を問わず発生しました。

【時間別飲酒運転事故発生件数】



(3) 路線別では国道と市町村道での発生が多い

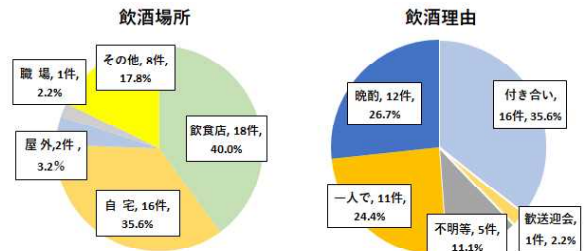
路線別では、国道が16件で最も多く、次いで市町村道が14件と多くなりました。

当事者種別(第1当事者)では、普通乗用車が5割以上(45件中23件、51.1%)を占めました。

(4) 飲食店での飲酒が多い

飲酒場所別では、「飲食店」が18件と最も多く、次いで「自宅」が16件でした。

また、飲酒理由については、「付き合い」が16件で最も多く、次いで「晚酌」が12件でした。



(5) 20歳代、60歳代の運転者が多い

第1当事者(飲酒運転者)の年代別では、20歳代と60歳代がいずれも10人で最多で、65歳以上の高齢者は2人でした。

年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80以上	計	うち高齢者
人数		10	7	9	9	10			45	2
構成率	0.0	22.2	15.6	20.0	20.0	22.2	0.0	0.0	-	4.4
うち死亡事故			1	1	1				3	

(6) 飲酒運転事故は死亡事故率が高い (基礎データ平成26年～令和5年)

飲酒運転事故の死亡事故率(事故件数に占める死亡事故件数の割合)は、飲酒運転以外と比較して、死亡事故率が約6倍に達しています。

区分	A 発生件数	B 死亡事故件数	B÷A 死亡事故率	死亡事故率 倍率
飲酒運転以外	62,058	514	0.83	6.2
飲酒運転事故	598	31	5.18	

【交通事故致死率比較】

